



【調査】は簡単なハズだった…。

極上のエンターテインメントに酔う。

# 探偵は BARにいる



大泉 洋 松田龍平 小雪 西田敏行

マギー 榊英雄 本宮泰風 安藤玉恵 新谷真弓 街田しおん 梶田徳寿 野村周平 カルメン・マキ 中村育二 阿知波悟美  
田口トモロヲ 波岡一喜 有菌芳記・竹下景子・石橋蓮司 松重 豊 高嶋政伸

原作:東直己 ススキノ探偵シリーズ「バーにかかってきた電話」(ハヤカワ文庫)  
脚本:古沢良太 須藤泰司 音楽:池頼広 監督:橋本一

©2011「探偵はBARにいる」製作委員会

www.tantei-bar.com

9.10 [sat]  
ROADSHOW

# 人気シリーズ、待望の映画化。 主演はこの俺、探偵だ!

舞台は、札幌・ススキノ。この街の裏も表も知り尽くした“俺”の活躍を描いた“ススキノ探偵シリーズ”が遂に映画化される。俺と同じ札幌在住の鋭敏ミステリー作家・東直己が、デビューの92年から発表し続けている人気シリーズだ。本作で描かれるのは、中でも傑作の誉れ高い第2作「バーにかかってきた電話」。“ハードボイルド”と“純愛”が見事に調和する極上のカクテルのような原作をベースに、俺“探偵”と“相棒”高田がスクリーン狭しと暴れまわる!



## 映画界屈指の実力派& 精鋭スタッフが集結!

魔性のヒロイン・沙織役には、話題作への出演が続く小雪。事件の鍵を握る大物実業家・霧島役に、日本映画界の重鎮・西田敏行。他にも田口トモロヲ、波岡一喜、有菌芳記、竹下景子、石橋蓮司、松重豊、高嶋政伸といった映画界屈指の実力派キャストが脇を固める。また、スタッフはあのヒット作「相棒」シリーズの精鋭スタッフが集結。王道&極上のエンターテインメントが今、始動する!

挑むは「探偵」×「相棒」VS「美女」×「大物」。

「依頼」×「謎」×「危険」そして、「愛」。

こんな映画を、待っていた!



## 大泉洋×松田龍平、 予測不能の新コンビ!

酒好きで美女に弱いが、たとえ傷だらけになっても依頼者を最後まで守り抜こうとする俺=“探偵”を演じるのは、大泉洋。いつものコミカルな一面とともに、本作ではシリアスな演技とアクションを披露。そして普段はボーっとしているが実は喧嘩が滅法強い“相棒”兼運転手・高田を演じるのは、日本映画界に愛され続ける若き名優・松田龍平。2つの才能が魅せる、絶妙なコンビネーションは予測不能。問答無用でカッコいい!



### [STORY]

舞台は札幌・ススキノ。この街の裏も表も知り尽くした探偵は、いつものように行きつけのBARで相棒兼運転手の高田と酒を飲み、オセロに興じていた。そこへ“コンドウキョウコ”と名乗る女から電話が…。職業柄、危険の匂いには敏感なはずが、簡単な依頼だと思い引き受け、翌日実行。だがその直後に拉致され、雪に埋められ、半殺しの目に遭ってしまう。怒りが収まらぬ探偵の元に、再び“コンドウキョウコ”から電話が…。その依頼を淡々こなした探偵と高田は、知らず知らずのうちに事態の核心に触れていく。その過程で浮かび上がる、沙織という謎の美女と大物実業家・霧島の存在。そして、探偵は4つの殺人事件にぶつかると…。果たして“コンドウキョウコ”は何を目論んでいるのか? 事件と事件のつながりは何なのか? 探偵と高田は、今日も街を疾走する。そして最後に待つものとは?

# 探偵は BARにいる

製作:鈴木武幸 神山都雄 木下直哉 日達長夫 島中達郎 鈴井亜由美 古玉國彦 村田正敏 萩谷忠男 岩本孝一 山本晋也 大辻 茂 古賀 次 エグゼクティブプロデューサー:平城隆司 企画:香月純一 森田 渥  
プロデューサー:須藤泰司 上田めぐみ 今川朋美 キャスティングプロデューサー:福岡廣裕 音楽プロデューサー:津島玄一 ラインプロデューサー:林 周治 宣伝プロデューサー:孤嶋健二郎  
撮影:田中一成 (J.S.C.) 照明:吉角荘介 美術:福澤勝広 (A.P.D.J.) 装飾:大庭信正 録音:田村智昭 監音:室園 剛 編集:只野信也 アクションコーディネーター:諸観治裕太 スチール:奈良則寿 助監督:高橋 浩 製作担当:畑山佳津子  
北海道ロケ協力代表:SHOCS(札幌・北海道コンテンツ戦略機構) 製作プロダクション:東映東京撮影所  
「探偵はBARにいる」製作委員会(東映 テレビ朝日 木下グループ 東映ビデオ アミューズ クリエイティブオフィスキュー 東映チャンネル 北海道新聞社 北海道テレビ メーテレ 朝日放送 広島ホームテレビ 九州朝日放送)  
助成:文化芸術振興費補助金 配給:東映

©2011「探偵はBARにいる」製作委員会